

取扱説明書	絶縁 2 出力プロセス計装用変換器 11・RACK シリーズ
	<div style="display: flex; justify-content: space-between; align-items: center;"> <div style="font-size: 1.5em; font-weight: bold;">電空変換器</div> <div style="font-size: 1.5em; font-weight: bold;">11VP</div> </div>

◆◆◆◆◆

このたびは、弊社の製品をお買い上げいただき誠にありがとうございます。本器をご使用いただく前に、下記事項をご確認下さい。

◆◆◆◆◆

概要

（主な機能と特長）
 11VP は、DC 1 ~ 5 V または DC 4 ~ 20 mA を入力とし、計装用空気圧信号を出力するラック（ネスト）収納形の電空変換器です。 アンサーバック出力付です。

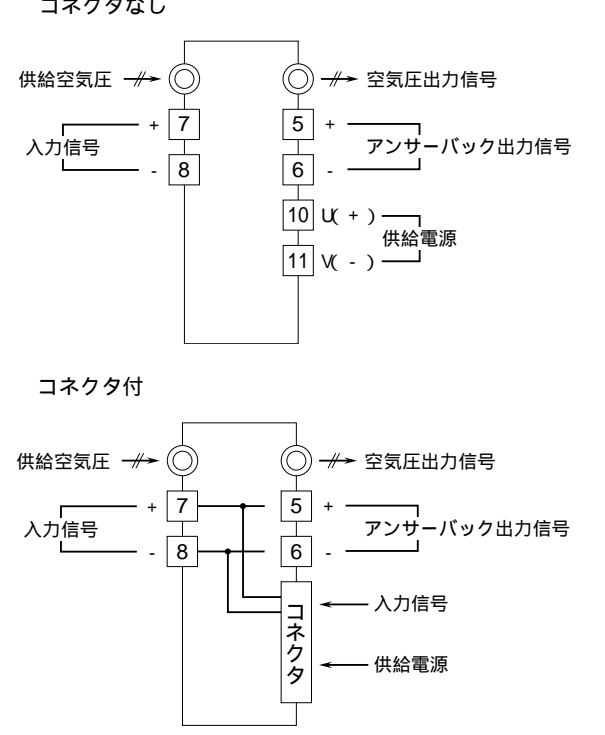
設置

設置には次のような場所をお選び下さい。
 屋内で、周囲温度が -5 ~ +55 の場所
 湿度が 30 ~ 90 %RH で、結露しない場所
 雨や水のかからない場所
 腐食性ガス、粉塵や振動のない場所
 取付は、11・RACK 専用ネスト 11BX をお使い下さい。

接続

各端子の接続は下図の要領で行って下さい。

端子接続図



雷対策

雷による誘導サージ対策のため弊社では、電子機器専用避雷器 <エム・レスタシリーズ> をご用意致しております。併せてご利用下さい。

調整

弊社では入力に対して基準精度内に調整して出荷しております。
 空気圧出力信号を校正するときは、次の要領で行って下さい。
 模擬入力信号を 0 % 相当値に設定し、ZERO で出力を 0 % に合わせます。
 模擬入力信号を 100 % 相当値に設定し、SPAN で出力を 100 % に合わせます。
 再び、模擬入力信号を 0 % 相当値に設定し、ゼロ出力を確認して下さい。
 ゼロ出力がずれているときは、 ~ の操作を繰返して下さい。

供給空気

乾燥した清浄な（カーボンなど異物のない）空気を供給して下さい。カーボンなど微小な異物が混入する恐れがある場合は、ろ過度 0.01 μ m 以下のエアフィルタを使用して下さい。

配管

11VP の空気接続口は、Rc 1 / 4 または 1 / 4 NPT めねじとなっています。締付は 12 N・m 以下のトルクで行って下さい。

配管が終了しましたら空気漏れのないことを確認して下さい。漏れは誤差の原因になります。

注) 入力信号を印加したままの出力配管の脱着（出力圧力の急激な変動を含む）は、他の電空変換器の出力に影響を与えます。特に供給側配管サイズが小さい場合は、影響が大きくなりますのでご注意下さい。

点検

- 端子接続図に従って結線がされていますか。
- 供給電源の電圧は正常ですか。
- 入力信号は正常ですか。
- 端子番号 +、- 間に正常な電圧が現れているかテスタで測定して下さい。
- 出力信号は正常ですか。
- 供給空気圧は正常ですか。
- 配管接続口に漏れはありませんか。

注) 11VP 内部のパイロットバルブおよびノズルフラップのノズルで少量（定常時 6 Nl / min）の空気を消費（大気へ放出）しています。この消費による漏れ音が発生しても機器は正常です。

保証

本器は、厳密な社内検査を経て出荷されておりますが、万一製造上の不備による故障、または輸送中の事故、出荷後 3 年以内正常な使用状態における故障の際は、ご返送いただければ交換品を発送します。